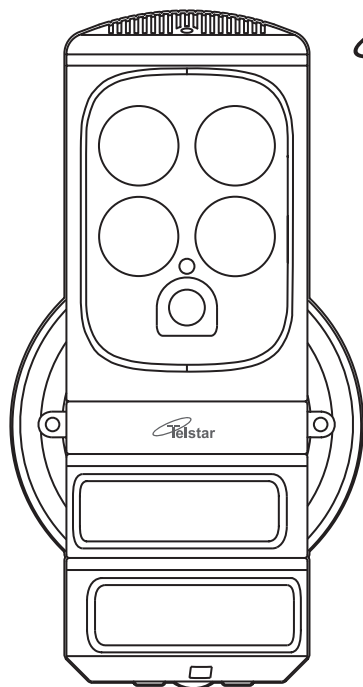


オートパン方式センサーライト

# SL-TR1

## 取扱説明書(保証書付)



Telstar



この度は弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。電源を入れる前に、本説明書をよくお読みになってからご使用ください。また、末永くご愛用いただくために、この説明書は必ず大切に保管していただきま

## お使いになる前に

特長	02
センサーライトを使うまでの流れ	
安全上のご注意	04
梱包内容の確認	06
ご使用前のご注意	07
各部の名称とはたらき	08
センサーライト	
リモコン	

## ご使用のまでの準備

機器の準備	10
リモコンを準備する	
リモコンの電池を交換する	
人感センサーの特性	
検知エリアの目安	
ライトの可動範囲について	
センサーの検知範囲について	
ライトの首振り角度とセンサーの関係	

## 設置

取り付け	12
接続イメージと準備	
延長ポールの接続	
センサーライトを取り付ける	
端子・コネクターの防水処理方法	
コンクリート壁などへの設置方法	

## 設定

動作の確認	14
テストモード	
自動モード	
ライトの点灯秒数を変更する	
ライトの明るさを変更する	
手動モード	

## 必要に応じて

設定方法	16
基本編～ライトを右向きに回す	
応用編～さらに右向きに回す	
他の機器との接続	17
センサー端子の配線	

## 困ったとき

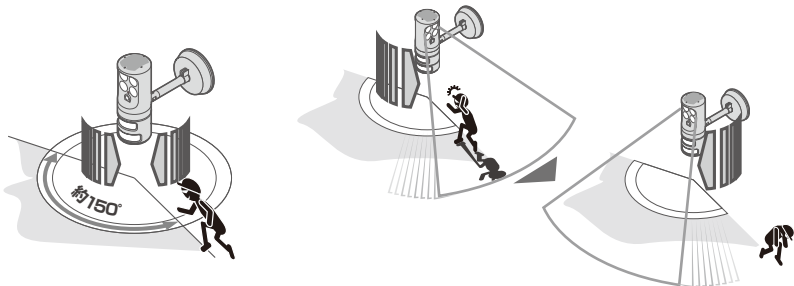
故障かな?と思ったら	18
明るい場所/暗い場所での動き仕様	
保証書	20

# 特長

## ● ライトの自動首振り(オートパン)機能

自動モード時、人感センサー(パッシブインフラレッド方式※)により、自動で点灯、首振りをし、その後ランダムに動きます(周囲が暗い状態で機能)。

※ 人が放出している温度と周囲の温度の差を赤外線を照射して検知する方式。



## ● 高輝度タイプLED使用

2.5W×4灯(約600ルーメン)の高輝度タイプLEDを使用し、強力な光を照射します。明るさを3段階で調節したり、点灯秒数(10秒、30秒、60秒)の変更ができます。

## ● リモコン付属

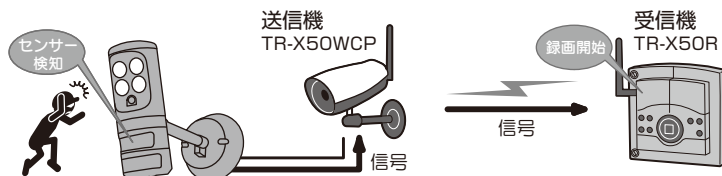
明るさの調整やモードの切替などの設定ができます。

## ● 外部機器と連携 ⇒「他の機器との接続」P17参照

### テルスター「TR-X50」シリーズと接続

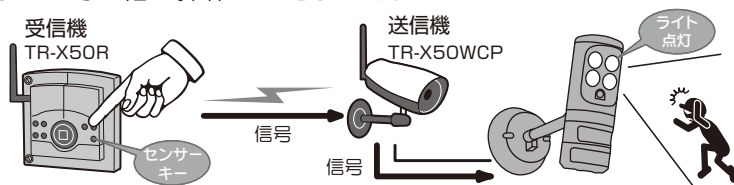
センサーが検知すると送信機へ信号が送られ、録画を開始します。

※無線機側のモーション機能を切ったのご使用をおすすめします。



受信機から遠隔操作でライトを点灯することができます。

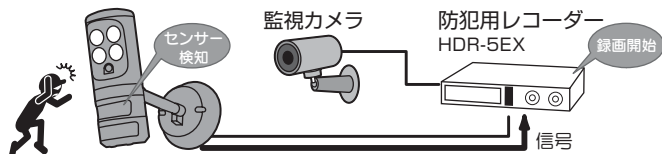
※首振りなどのその他の操作はできません。



## ● 外部機器と連携(つづき)

### 防犯用レコーダーと接続

センサーが検知するとレコーダーに信号が送られ、監視カメラ映像の録画を開始します。



## ● 壁面と天井のどちらにも設置可能 ⇒「延長ポールの接続」P12参照

天井に設置する場合は付属の延長ポールを取付けます。

## ● 屋外軒下に設置可能

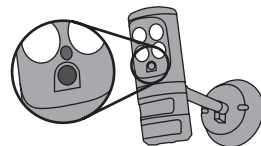
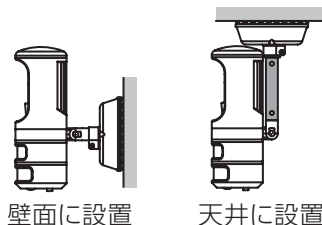
雨などがかからなければ、屋外の軒下での使用が可能です。

## ● ダミーカメラ&常時点滅赤色LED搭載

防犯効果を発揮します。

## ● センサーライトとして単体で使用可能

単独使用で威嚇用の防犯ライトにもなります。



ダミーカメラ&常時点滅赤色LED

## センサーライトを使うまでの流れ

### 注意

動かす前に注意すべきことを確認する ⇒P07

### 準備

機器の基本操作を知る ⇒P11

ライトとACアダプターを接続し仮設置する ⇒P12

### 確認

センサーの検知範囲、ライトの照射範囲などを確認する ⇒P14

### 設置

設置する ⇒P12





### 設定













設定する ⇒P14

# 安全上のご注意

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

## 絵表示について

 <b>警告</b>	この警告事項に反した取り扱いを すると、人が死亡または重傷を負う 可能性があることを示します。	 <b>してはいけない内容 です</b>
 <b>注意</b>	この注意事項に反した取り扱いを すると、人が傷害または物的損害を 負う可能性があることを示します。	 <b>実行しなければなら ない内容です</b>

 <b>警告</b>	
 ■ <b>水をかけたり、ぬらしたりしない</b> 火災、感電、けがの原因になります。	 ■ <b>雷が鳴ったら本体や電源プラグ、ACアダプターに触れない</b> 感電の原因になります。
 ■ <b>分解・改造・修理はしない</b> 火災、感電の原因になります。	 ■ <b>異物が入ったときは使用を中止する</b> そのまま使用すると火災、感電の原因になります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
 ■ <b>異常な状態で使用しない</b> (発熱、発火、発煙、異臭、異音がするなど)火災、感電の原因になります。 すぐに電源プラグやACアダプターをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。	 ■ <b>落としたり、破損したときは使用を中止する</b> そのまま使用すると火災、感電の原因になります。 すぐに電源プラグやACアダプターをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。
 ■ <b>コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、AC100V以外での使用はしない</b> たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因になります。	 ■ <b>電源プラグやACアダプターは根元まで確実に差し込む</b> 差し込が不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
 ■ <b>電源プラグやACアダプター、コードなどに水をかけたりしない</b> 感電の原因になります。 ぬれた場合は、すぐに電源プラグやACアダプターをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。	 ■ <b>電源プラグやACアダプターのほごりは定期的にとる</b> プラグにほごりがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災、感電の原因になります。 プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
 ■ <b>電源プラグやACアダプター、コードなどを破損しない</b> (傷つける、加工する、無理やり曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を乗せる、加熱するなど)傷んだまま使用すると火災、感電、けがの原因になります。 電源プラグやACアダプター、コードなどの修理は販売店にご依頼ください。	

## ⚠ 注意

- ❌ **■ 不安定な場所や振動の多い場所には設置しない**  
(ぐらつき、傾きのある場所)落下などにより破損やけがの原因となります。
- ❌ **■ 埃の多い場所に設置しない**  
火災、感電の原因になります。
- ❌ **■ 機器に重いものを置いたり引っ掛けたりしない**  
落下などにより破損やけがの原因となります。
- ❌ **■ 湿気が多い場所、結露が発生しやすい場所に設置しない**  
(風呂場、台所や水まわり等)  
結露しますと電子部品の誤作動、故障、劣化などの原因になります。温度差により結露(水滴)が発生しやすくなります。
- ❌ **■ コードを引っ張らない**  
電源プラグやACアダプターを抜くときはコードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となります。
- ❌ **■ 高温になる場所に設置しない**  
(直射日光の当たる場所、車のトランク、ダッシュボードなど)機器の変形、電子部品の誤作動、故障、劣化などの原因になります。
- ❗ **■ 機器の重量などを満たす強度で設置する**  
落下などにより破損やけがの原因となります。
- ❌ **■ ヒーターなどの熱器具の近くに設置しない**  
コードが溶けて火災、感電の原因になります。
- ❗ **■ 取り付けや配線を行う場合は必ず電源を切る**  
感電の原因となります。

## 使用上のお願い

ご利用の際、下記の影響を複合的に受けた場合、機器の仕様(耐久性)の限度を超える場合がございます。設置の際に配慮をお願いします。

- ・ 直射日光などによる影響
- ・ 夏の高湿などによる影響
- ・ 降雨、強風、突風、台風などによる影響
- ・ 冬の低温、湿気、結露などによる凍結、積雪などによる影響
- ・ 塵、ホコリ、土、砂などによる影響
- ・ 海風などによる塩害の影響
- ・ 虫や動物、またそれらが出す有機物(糸、毛、抜け殻、糞、尿、体液、かじりかす、死骸その他)による影響
- ・ 熱源などによる影響
- ・ 特殊環境による液体や気体などによる影響
- ・ その他機器に有害な影響を及ぼすもの

## プライバシー、肖像権について

防犯機器の設置や利用は、ご利用になるお客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。

※「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また、肖像権

は、みだりに他人から自らの容貌、姿態を撮影されたり、公開されない権利」と一般的に言われています。

## 免責事項

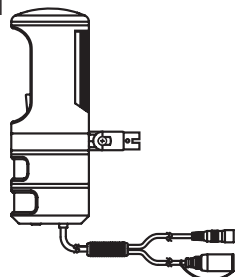
- 本製品は、盗難防止器具・災害防止器具ではありません。本製品の動作の正常・異常にかかわらず、犯罪・事故が発生した場合の損害については、当社は一切責任を負いません。
- 製品の設置(取り付け・取り外しなど)により生じた建物等への損傷やその他の損害について、当社は一切責任を負いません。
- 地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、

- 第三者による行為、その他の事故・お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(事業利益の損失・事業の中断・記憶内容の変化・消失など)に関して、当社は一切責任を負いません。

# 梱包内容の確認

本機をご使用いただく前に、すべての付属品が入っていることをご確認ください。  
不備な点がございましたら、お買い上げの販売店にお申し付けください。

- センサーライト本体  
(ケーブル約5m) ×1






- センサーケーブル(約3m) ×1



- ブラケット ×1



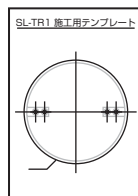
## 小袋内容

- 木ネジ X4 
- アンカー  
(コンクリート取付用) X4 
- 取付ネジ(延長ポール用) X2 

- ブラケットスペーサー ×1



- SL-TR1 施工用テンプレート ×1



- 延長ポール(約100mm) ×1



- リモコン ×1



- 取扱説明書(保証書付き) ×1

- ACアダプター  
(ケーブル長約1.8m) ×1



- スキマ電源ケーブル(約2m) ×1



- |   |  |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> センサーライト本体(ケーブル約5m) ×1  | <input type="checkbox"/> センサーケーブル(約3m) ×1    |
| <input type="checkbox"/> ブラケット ×1               | <input type="checkbox"/> 木ネジ ×4              |
| <input type="checkbox"/> ブラケットスペーサー ×1          | <input type="checkbox"/> アンカー(コンクリート取付用) ×4  |
| <input type="checkbox"/> 延長ポール(約100mm) ×1       | <input type="checkbox"/> 取付ネジ(延長ポール用) ×2     |
| <input type="checkbox"/> リモコン ×1                | <input type="checkbox"/> SL-TR1 施工用テンプレート ×1 |
| <input type="checkbox"/> ACアダプター(ケーブル長約1.8m) ×1 | <input type="checkbox"/> 取扱説明書(保証書付き) ×1     |
| <input type="checkbox"/> スキマ電源ケーブル(約2m) ×1      |  |

# ご使用前のご注意

正面LEDライトユニットと上部・下部人感センサーは一度に大きく回転させることができません。無理に回転させると故障の原因となります。

⇒「ライト首振り角度とセンサーの関係」P11参照



## 【ポイント】

- 正面LEDライトはリモコンで操作。
- 人感センサーは2つを一緒にゆっくり手でまわす。

【注意】センサーのカバーを強く押さないでください。防水機能を損ない、故障の原因となります。

## センサーライトの稼働回数について

本製品の首振り機能の稼働回数は、1日につき5～6回を想定しています。人通りの多い場所などに設置しますと、稼働頻度が高くなり、モーターの寿命が短くなる場合がございます。

ライトユニットを手で  
回さない



故障や火災・感電・怪我の原因となります。

急激な温度変化のある場所  
では使用しない



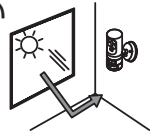
温度変化を正確に検知できない為、誤作動の原因となります。

障害物があるところでは  
使用しない



温度変化を正確に検知できない為、誤作動の原因となります。

直射日光のあたる場所では  
使用しない



温度変化を正確に検知できない為、誤作動の原因となります。

ライトの明かりを直視しない



非常に強力なライトを照射する為、直視すると目を傷める原因となります。

車道や公道に向けて設置  
しない



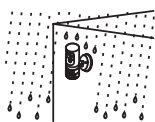
ライトを直視すると一時的に視力を失う可能性がある為、事故や怪我の原因となります。

使用中は背面の放熱器部を  
触らない



モーターの熱を逃がすため放熱器部が非常に熱くなり、触れると火傷や火災の原因となります。

雨や水に濡れる場所では  
使用しない



故障や火災・感電・怪我の原因となります。

ほこり・粉塵の多い場所では  
使用しない



故障や火災・感電・怪我の原因となります。

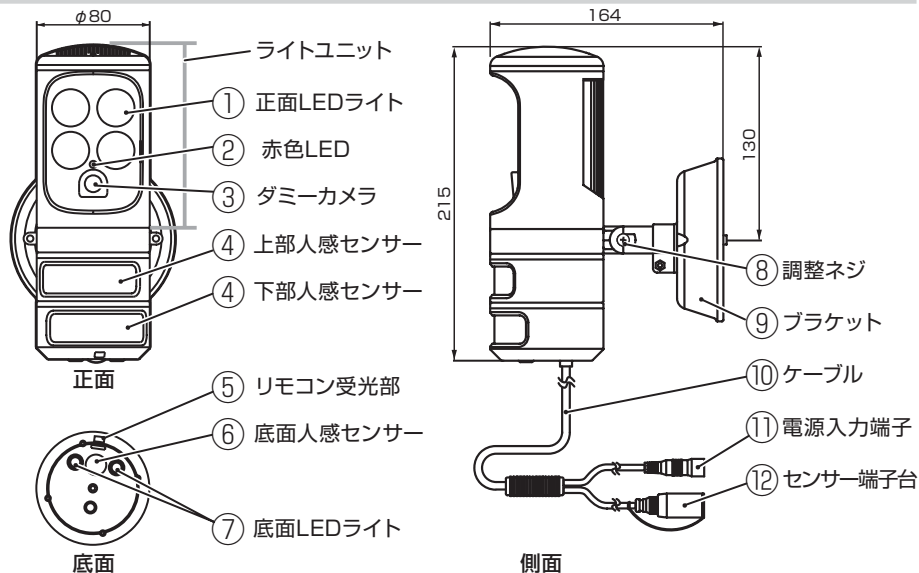
近くに物を置かない



モーターの熱を逃がすため放熱器部が非常に熱くなり、触れると火傷や火災の原因となります。

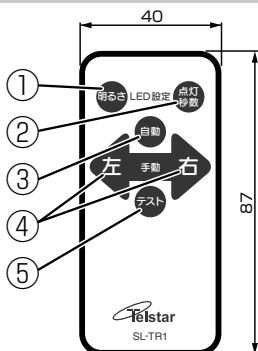
# 各部の名称とはたらき

## センサーライト



- ① **正面LEDライト** センサーの反応に応じて2.5W×4灯のLEDライトが点灯
- ② **赤色LED** 点滅:通常稼働時  
速く点滅:センサー範囲の確認時(テストモード1)  
ゆっくり点滅:ライトの照射範囲の確認時(テストモード2)  
:外部接続機器への発報の確認時
- ③ **ダミーカメラ** リアルなダミーカメラを内蔵 ※実際に撮影はできません。
- ④ **上部人感センサー/下部人感センサー**  
上部は右側に約100° 下部は左側に約100° の範囲に赤外線を照射し検知する
- ⑤ **リモコン受光部** リモコンの操作信号を受信する  
受信範囲:垂直方向角度約20°/水平方向角度約40°/距離約3m以内
- ⑥ **底面人感センサー** 本体下方約45° の範囲の動きを感知する
- ⑦ **底面LEDライト** 底面人感センサーに反応して点灯する
- ⑧ **調整ネジ** 本体の角度調整および固定をする
- ⑨ **ブラケット** ブラケットスペーサーとともに壁面にしっかり固定する
- ⑩ **ケーブル** ケーブル長は約5m
- ⑪ **電源入力端子** スキマケーブルまたはACアダプターに接続する
- ⑫ **センサー端子台** 外部機器と接続する場合、センサーケーブルを接続する



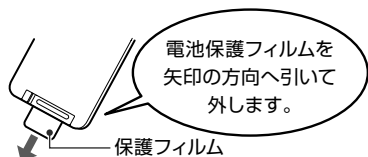


- ① **「明るさ」ボタン:正面LEDライトの明るさを変える**  
「明るさ」ボタンを押すと明るさが順番に変わります。  
OFF→約30%→約70%→100%→…繰り返し  
⇒「ライトの明るさを変更する」P15参照
- ② **「点灯秒数」ボタン:正面LEDライトの照射秒数を変える**  
「点灯秒数」ボタンを押すと点灯時間が順番に変わります。  
約10秒間→約30秒間→約60秒間→…繰り返し  
⇒「ライトの点灯秒数を変更する」P15参照
- ③ **「自動」ボタン:自動モードにする** (テストモード、手動モード時操作可能)  
「自動」ボタンを押すと自動モードになり、検知範囲に動きがあると自動でライトが起動します (明るい場所ではライトは点灯、首振りはしません)。
- ④ **「左」、「右」ボタン:手動モードにする**  
「右」または「左」ボタンを押すと、手動でライトユニットを動かすことができます。同時にライトも点灯します。  
**【注意】長時間ライトを点灯させたままにしておくとライトユニット周辺が高温となり、故障や怪我の原因になります。**
- ⑤ **「テスト」ボタン:センサーの検知範囲とライトの照射範囲を確認する**  
(テストモード、自動モード時操作可能)  
「テスト」ボタンを押すと**センサーの検知範囲**を確認(テストモード1)できます。  
「テスト」ボタンの長押しで**ライトの照射範囲**を確認(テストモード2)できます。  
⇒「テストモード」P14参照

# 機器の準備

## リモコンを準備する

初めてリモコンをご使用になる際には、必ず電池保護フィルムを外してください。



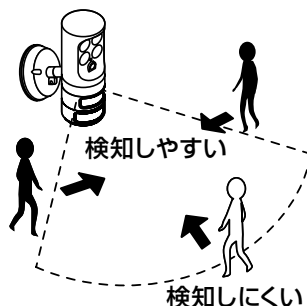
## リモコンの電池を交換する

ご購入時にリモコンに入っている電池はお試用です。リモコンが動作しなくなったら、新しい電池(CR2025)と交換してください。



## 人感センサーの特性

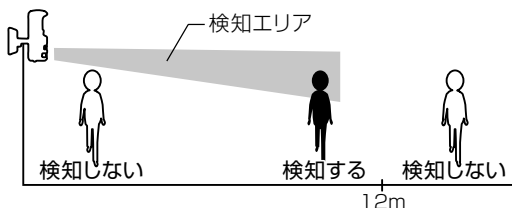
- センサーは対象物が横切るように設置すると検知しやすくなります。
- 向かっていく動きに対しては検知しにくくなります。
- 検知の感度は、周辺の温度や季節によって変化します。
- 動きが速い、または静止している場合は検知しにくくなります。
- センサーは近くて範囲が狭いほど検知がしやすくなります。



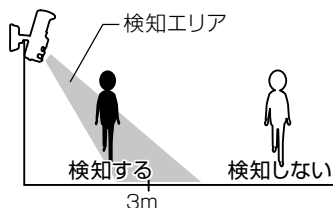
## 検知エリアの目安

検知範囲は目安です。仮設置して検知動作を確認してから取り付けて下さい。本体の傾きを変えると検知距離が変わります。

広い範囲の検知  
(水平方向に設置した時の目安)



狭い範囲の検知  
(約45°傾けて設置した時の目安)

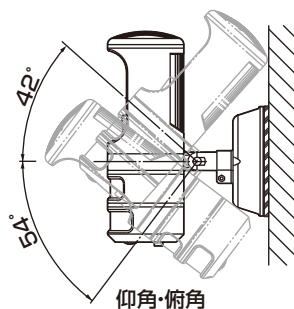
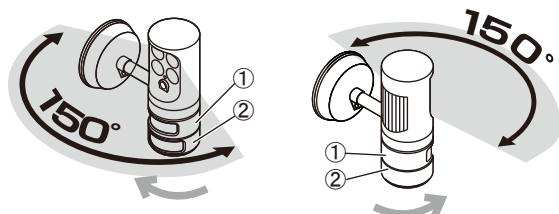


人感センサーについて：人が放出している温度と周囲の温度の差を赤外線を照射して検知する方式です。

※ 真夏など環境温度が人の体温と同じ程度の場合は検知しないことがあります。

## ライトの可動範囲について

ライトはセンサーの検知範囲の中心位置を基準に首振りを行います。①と②を一緒に動かします。



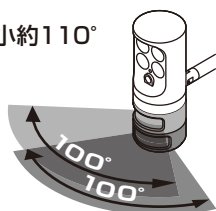
仰角・俯角

参照図：首振り角度

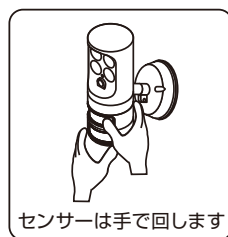
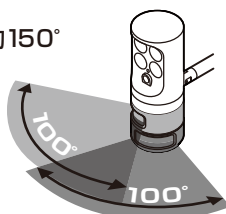
## センサーの検知範囲について

上部センサー、下部センサーの検知範囲はそれぞれ約100°です。2つのセンサーをずらすことで約110°～150°まで検知範囲を変更することができます。

最小約110°



最大約150°

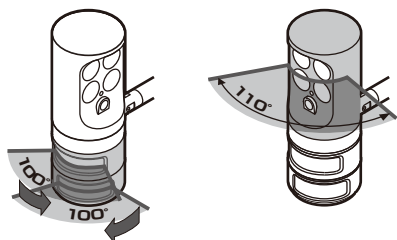


センサーは手で回します

## ライトの首振り角度とセンサーの関係

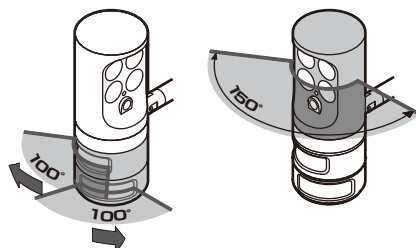
ライトの首振り角度とセンサーの検知範囲は連動しています。センサーの検知範囲を調整することでライトの首振り角度とその方向を変更することができます。

狭くする（最小約110°）



2つのセンサーの検知範囲が重なる方向に狭めます。

広くする（最大約150°）



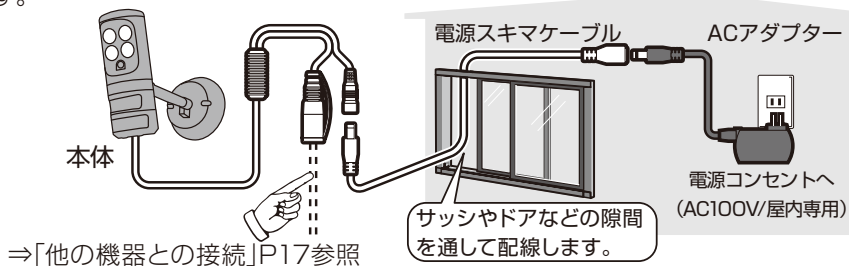
2つのセンサーの検知範囲が重ならない方向に広げます。

# 取り付け

## 接続イメージと準備

### 設置場所の確認

センサーライトにACアダプターなどを仮に接続し、電源を入れた状態で設置したい場所に仮置きします。大まかに**検知範囲**や**照射範囲**を確認し、設置場所を決定します。



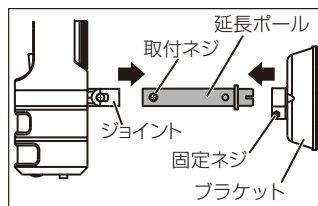
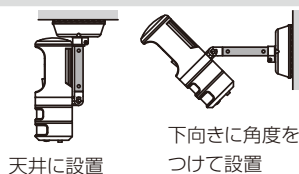
### 延長ポールの接続

天井に設置する場合は延長ポールを接続します。また、壁面に設置する際で下向きに角度をつけた場合などにも延長ポールを接続します。

### 延長ポールの固定

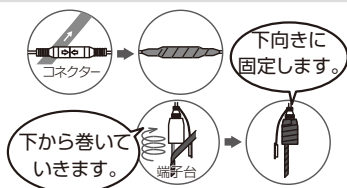
ブラケットとジョイントの間に延長ポールを接続します。取付ネジと固定ネジをプラスドライバーで締め付け固定します。

**【注意】ネジを強く締めすぎるとネジ穴を潰す恐れがありますので注意してください。**



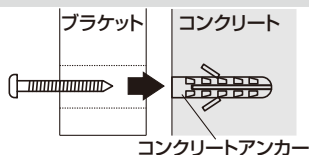
### 端子・コネクターの防水処理方法

コネクター部・端子が屋外になる場合は、防水のために市販の自己融着テープを巻いてください。自己融着テープをもとの長さの約2倍程度に引き伸ばし、コネクターや端子台に巻きつけます。



### コンクリート壁などへの設置方法

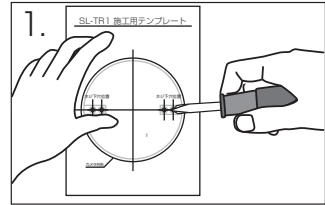
1. コンクリート用ドリルで壁にΦ5.5mmの穴を開けます。
2. アンカーを打ち込みます。
3. ネジを締め付けます。



## センサーライトを取り付ける

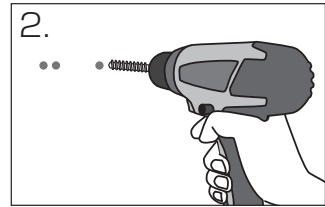
### 1. 取り付け位置の確認

- 「SL-TR1 施工用テンプレート」を使い、ドライバーなどで取り付け位置に印をつけます。



### 2. 下穴を開ける

- ドリルなどでφ2mm程度の下穴を開けます。

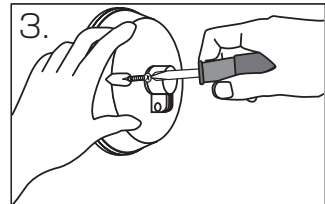


### 3. ブラケットの固定

- 壁面とブラケットの間にブラケットスペーサーをいれ、押さえ込みます。付属の木ネジでブラケットをしっかりと固定します。コンクリートの壁面などに固定する場合はコンクリートアンカーをご使用ください。

⇒「コンクリート壁などへの設置方法」P12参照

**【注意】ネジを紛失しないようご注意ください。**

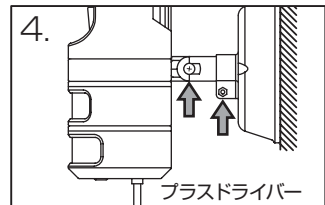


### 4. センサーの調整と固定

- センサーの検知範囲を調整します。

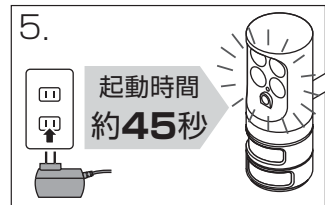
固定ネジを締め、本体の角度を固定します。

**【注意】ネジを強く締めすぎるとネジ穴を潰す恐れがありますのでご注意ください。**



### 5. ACアダプターをコンセントにさす

- ウォームアップを開始します。起動時間は約45秒です。ウォームアップ中は本体首振り、正面LEDライト点灯、底面LEDライト点滅、赤色LED点滅を行います。正面LEDライトと底面LEDライトが消灯し、ウォームアップが終了します。ウォームアップ後は自動モードで待機します。ウォームアップ中のリモコン操作はライトの明るさ変更のみ可能です。



#### ウォームアップ中の動作

- ・本体首振り
- ・正面LEDライト点灯
- ・底面LEDライト点滅
- ・赤色LED点滅

#### ウォームアップ終了の動作

- ・正面LEDライト消灯
- ・底面LEDライト消灯
- 自動モードで待機

※ウォームアップ中のリモコン操作はライトの明るさ変更のみ可能。

**【ご注意】起動時、LEDライトが発光します。強力な光ですので、直視しないようご注意ください。**

# 動作の確認

自動モード、  
手動モード時  
操作可能

## テストモード

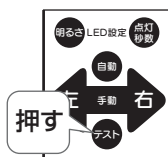
テストモード1: センサーの検知範囲を確認(外部接続機器への発報なし)

テストモード2: ライトの照射範囲を確認(外部接続機器への発報あり)

### テストモード1

センサーの検知範囲を確認する

1. 「テスト」ボタンを押す



2. 本体の首振り動作が始まる  
赤色LEDが速く点滅します。

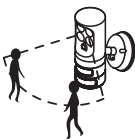


3. 左右に首振り後、中心位置で止まる



4. センサーの検知範囲を確認する

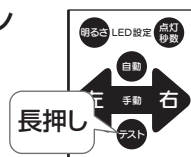
センサーが検知するとLEDライトが点灯し、検知を知らせます。LEDライトは1回の検知で約1~2秒程度点灯し、検知している限り点灯し続けます。外部機器への発報はしません。



### テストモード2

ライトの照射範囲を確認する/  
外部接続機器への発報確認をする

1. 「テスト」ボタンを長押しする



2. 本体の首振り動作が始まる  
赤色LEDがゆっくり点滅します。

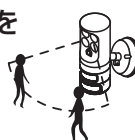


3. 左右に首振り後、中心位置で止まる



4. ライトの照射範囲を確認する

センサーが検知するとLEDライトが点灯し、検知を知らせます。



5. 外部接続機器への発報確認

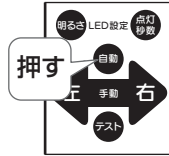
外部接続機器に接続し、センサーが発報しているか確認します。※ライトの明るさの変更は可能ですが、三段階の明るさ変更のみでOFFにはなりません。



## 自動モード

検知範囲に動きがあった時、自動でライトを点灯(暗い場所でのみ)／外部接続機器に発報

### 1. 「自動」ボタンを押す



### 2. 本体の首振り動作を始め、中心位置で止まる

センサーの検知範囲を確認して、上部、下部の人感センサーの検知範囲の中心位置で止まります。



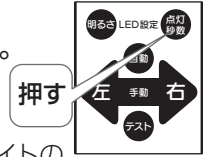
### 3. 自動モードが設定される

明るい場所では正面センサーのみ検知し、ライトは点灯および首振りはしません。→「明るい場所/暗い場所での動き」P19参照  
センサーが検知すると発報を開始します。外部接続機器に接続する場合は自動モードに設定する前にセンサー検知範囲を決めます。  
⇒「センサーの検知範囲について」P11参照

## ライトの点灯秒数を変更する

「点灯秒数」ボタンを押す。

点灯秒数が順番に変わります。変更時のライトの点滅回数で現状の設定秒数が確認できます。

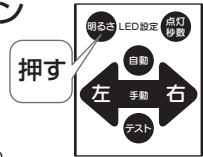


約10秒間点灯(1回点滅)  
→約30秒間点灯(2回点滅)  
→約60秒間点灯(3回点滅)  
→…繰り返し

## ライトの明るさを変更する

「明るさ」ボタンを押す。

明るさが順番に変わります。  
OFF→約30%  
→約70%  
→約100%→…繰り返し

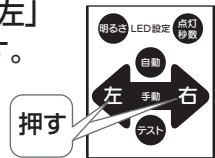


## 手動モード

手動でライトを動かす／点灯

「右」または「左」ボタンを押す。

ライトが任意の方向に動きます。同時にライトは点灯し続けます。手動モードでは正面の人感センサーはOFFになり検知しません。底面センサーは検知してLED点灯しますが発報はしません。  
⇒「明るい場所/暗い場所での動き」P19参照



# 設定方法

ライトの照射範囲とセンサーの検知範囲を設定します。

※正面LEDライトと上部・下部人感センサーは一度に大きく回転させることができません。無理に回転させると故障の原因となります。

## 基本編～ライトを右向きに回す

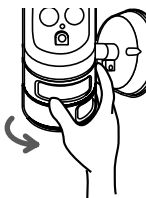
### 1. 「右」ボタンを押す

ライトが右に回転し、とまります。



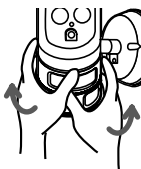
### 2. 上部・下部人感センサーを一緒にゆっくり手で回す

ライトが目的の方向になるまで1. 2の動作を繰り返します。



### 3. 上部・下部の人感センサーの検知範囲を調整する

上部人感センサーは左方向へ、下部人感センサーは右方向へ回します。



### 4. 「テスト」ボタンを押し、ライトの照射範囲などを確認する

⇒「テストモード」P14参照

### 5. 「自動」ボタンを押して自動モードにする

検知範囲に動きがあった時、自動でライトを点灯します。

⇒「自動モード」P15参照

※左方向へ回転させる場合も同じ手順です。

## 応用編～さらに右向きに回す

設定後、さらにもう少しセンサーを右方向へ向けたい場合は、一度手動モードの「右」を押してセンサー検知を解除します。⇒「手動モード」P15参照  
基本編2.～5を繰り返し設定します。

### ライトとセンサーの動かし方

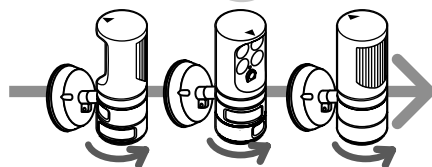
イメージ図(検知範囲約150°の場合)

ライトを一番左に向けた状態から右方向に回転させる場合、リモコンでライトを回転できる所までまわします。

2つのセンサーを一緒に回転できる所までまわします。

このようなリモコン操作と手での操作を繰り返しながら範囲を設定します。

上から見た図



センサーを上下一緒に手で回す    センサーを上下一緒に手で回す    センサーが一番右まで回転する

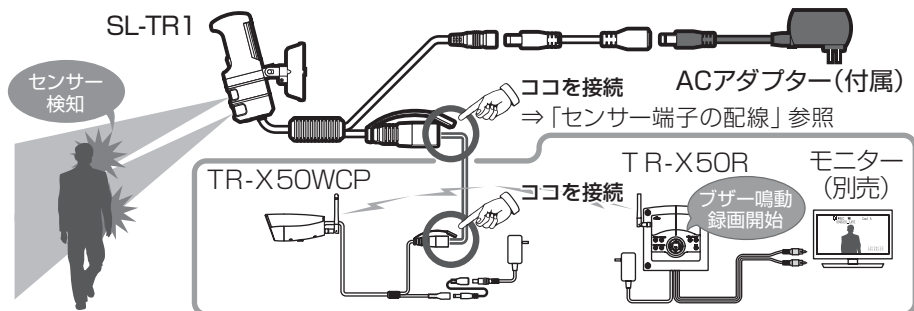
上部・下部人感センサーを動かすと中位置の再検出が必要になります。その時は一度手動ボタン「右」「左」でライトの照射範囲を確認してから自動ボタンを押してください。



# 他の機器との接続

本機は他の機器と接続することで、連携したシステムが構築できます。

下図はテルスター「TR-X50」シリーズで接続した例です。

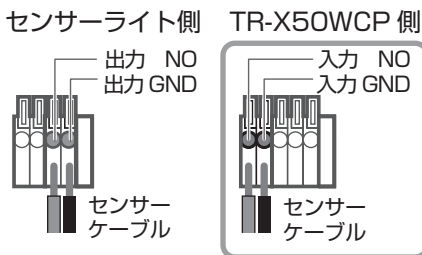
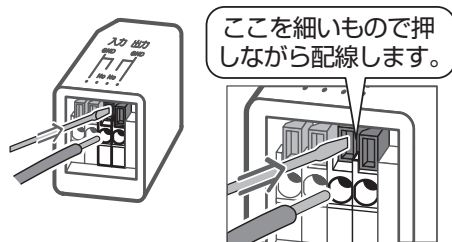


※無線機側のモーション機能を切ったのご使用をおすすめします。

## センサー端子の配線

センサーライトの検知信号を外部機器に送りたい場合は、センサーライト側の出力と外部機器側の入力のNO、GNDの極性をそれぞれ合わせ、センサーケーブルで接続します。

センサーライトに外部機器から信号を入力したい場合は、外部機器の出力側と接続します。この場合は極性を合わせる必要はありません。

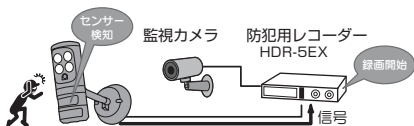


## テルスター「TR-X50」シリーズと接続

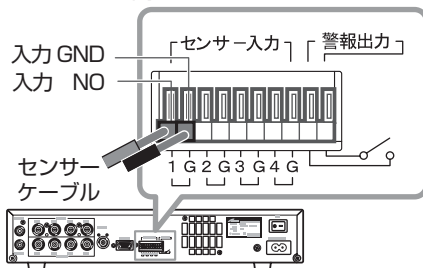


※無線機側のモーション機能を切ったのご使用をおすすめします。

## 防犯用レコーダー「HDR-5EX」と接続



## HDR-5EX 側



# 故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、以下の確認と処置を行ってください。

## センサーの動作について

症状	原因と対策
人感センサーが反応しない	<ul style="list-style-type: none"><li>● 人感センサーの正面から近づいてくる人物は検知しにくくなります。 →センサーライトを人が横切るように設置してください。 ⇒「人感センサーの特性」P10参照</li><li>● 前方にガラスなど温度変化の検知を妨げたり、反射するような障害物があるところに設置すると反応しないことがあります。 →センサーライトの設置場所を変えてください。</li><li>● 手動モードになっています。→自動モードにしてください。</li><li>● 夏場など、気温が高いと検知しにくくなります。また冬場など、厚着をしていると検知しにくくなります。</li><li>● 被写体の動きが小さいまたは早い、静止している場合には検知しにくくなります。</li><li>● 手動モードでは正面の人感センサーはOFFになり検知しません。</li></ul>
人感センサーが誤作動する	<ul style="list-style-type: none"><li>● ライトを下記のような場所に設置すると、人感センサーが誤作動することがあります。<ul style="list-style-type: none"><li>・ 換気扇やエアコンなどから吹き出る風などがある場所の近く</li><li>・ 直射日光のあたる場所</li><li>・ 台所等油污れがついたり、蒸気がかかる場所</li><li>・ 火気・熱器具の近く</li><li>・ 電子レンジや磁石などの強い磁気を発生する物の近く</li><li>・ エアコンのそばなど温度変化の激しい場所</li><li>・ 前方にガラスなどの温度変化の検知を妨げたり、反射するような障害物がある場所</li><li>・ 温度に影響するような強い発光物(蛍光灯など)がある場所</li><li>・ 携帯電話などの強い電波を発信する製品の近く</li></ul></li><li>● 犬、猫など、小動物に対しても反応することがあります。</li><li>● 冬場など、気温が低いと検知距離が長くなり、検知しすぎることがあります。 →ライトの設置場所を変えたり、ライトを傾けセンサー範囲を変えるなどしてください。</li></ul>
人感センサーが反応しにくくなった	<ul style="list-style-type: none"><li>● 人感センサーの表面が汚れています。 →表面を柔らかい乾いた布で拭いてください。</li></ul>

## ライトの動作について

症状	原因と対策
人感センサーの検知エリア内に人が入ったのにライトが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"><li>● 電源プラグが抜けていないか確認してください。 →電源プラグを入れてください。</li><li>● 検知エリアの設定が適切か確認してください。 →検知エリアの調整をやり直し、検知できているかテストモードで確認してください。</li></ul>
ライトが消灯しない	<ul style="list-style-type: none"><li>● ウォームアップ中です。 →電源を入れると約45秒間ライトを点灯させながらウォームアップが始まります。ウォームアップが終了するまでお待ちください。</li></ul>

ライトの動作について(続き)

症状	原因と対策
ライトが消灯しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 点灯の時間が長めに設定されています。10秒、30秒、60秒 →ライトの点灯秒数は変更されます。 ⇒「ライトの点灯秒数を変更する」P15参照</li> <li>● 検知エリアの中に人または小動物がいます。 →検知エリアから離れるか、動いているものは静止させ検知エリアから外してください。</li> </ul>
日が出ているのに検知するとライトが点灯する	● 明け方など日が出ていても薄暗い環境などでは、センサーが夜と判断しライトが点灯することがあります。
検知エリアに人がいないのにライトが点灯する	● 検知エリア内に周囲の環境と温度差が発生するとセンサーが誤作動しライトが点灯することがあります。 ⇒「人感センサーが誤作動する」表内参照

## 明るい場所/暗い場所での動き

本機はモードによって、また、明るさによって動き方(センサー検知、ライトの点灯、首振り動作)が違います。動作がおかしいと思われた際にはご確認ください。

	自動モード		手動モード	
	明るい場所	暗い場所	明るい場所	暗い場所
正面センサー検知	○	○	×	×
底面センサー検知	○	○	×	○※1
LEDライト点灯	×	○	○	○
首振り動作	×	○	○	○

※1 検知しますが、発報はしません。

## 仕様 製品改良のために、予告なく外觀/仕様などを変更することがあります。

検知方式	パッシブインフラレッド方式 ※2
LEDライト	正面LED 2.5W×4灯(約600ルーメン) 下方LED 2灯
センサー	上部下部センサー 約100°～150° 距離約12m 底面センサー 約45° 距離約6m
ライト首振り	可動範囲約110°～150°(設定範囲360°可能)/自動・手動(リモコン)
ライト点灯秒数	正面/底面 3段階(約10秒/30秒/60秒)切替(検知し続けると連続して投光)
設置環境	屋内、屋外軒下(雨など直接かからない屋外)
警報出力	a接点(N.O.)/接点容量 DC5V 25mA
ウォームアップ時間	約45秒(本体首振り、正面LEDライト点灯、底面LEDライト点滅、赤色LED点滅)
消費電流	DC24V/10mA(待機時)/500mA(最大)
使用温度範囲	0℃～40℃
ケーブル	電源、発報出力ともに約5m(本体直出)
外形寸法	幅115mm×高さ215mm×奥行265mm
重量	本体、ブラケット込約660g(ケーブル含まず)
同梱品	本体、ブラケット、延長ポール、ブラケットスペーサー、リモコン(試験用電池含む/CR2025)、ホネジ4本、コンクリートアンカー4本、延長ポール用固定ネジ2本、ACアダプター、スキマ電源ケーブル、センサーケーブル、SL-TR1 施工用テンプレート、取扱説明書(保証書付き)

※2 人が放出している温度と周囲の温度の差を赤外線を照射して検知する方式。

# 保証書

## お客様へ

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本保証書は右記の条件に従い、下記製品に対する保証サービスをご提供申し上げるものです。記入事項に記載のない保証書は無効となりますので、記入の有無をご確認の上、記入漏れの事項がありましたら、直ちにお買い上げの販売店にお申し付けください。本保証書は、再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

## 販売店様へ

本保証書は、所定事項を記入して効力を発揮するものです。必ず、お買上日・貴販売店名・ご住所・電話番号をご記入、ご捺印していただくか、販売証明書などをお客様にお渡しください。



- 本製品は日本国内での使用を前提とするもので海外ではご使用になれません。
- 本製品は緊急事態等を未然に防ぐ装置ではありません。
- 本製品の故障、通信の不具合などによって発生した損害について当社は一切の責任を負いませんのでご了承ください。

## 保証規定

正常なご使用状態のもとで保証期間内に万が一故障した場合は、保証規定にしたがって無料で故障の修理をさせていただきます。保証期間はお買い求めになった日より1年間です。次のような場合には、保証期間内でも有償修理となります。

- 本製品の説明書に記載された使用方法および注意事項に反するお取り扱いによって生じた故障・損傷の場合。
- お買い上げ後の輸送や振動、落下、衝撃などお取扱いが不適当なため生じた故障・損傷の場合。
- 火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変、公害、塩害、ガス害、異常電圧や指定外の電源使用などにより生じた故障・損傷の場合。
- 接続している他の機器、その他外部要因に起因して生じた故障・損傷の場合。
- 不適当な改造、調整、部品交換などをされたことにより生じた故障・損傷の場合。
- 本保証書のご提示がない場合。
- 本保証書の所定事項に未記入、あるいは字句を書き換えられている場合。
- 本保証書に販売店印または販売証明書などが不在の場合。

本製品の故障・損傷、またはその使用中に生じた直接または間接の損害につきましては、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。  
この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。  
弊社では出張修理は対応しておりません。  
保証期間経過後の修理、アフターサービスなどについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはサービス実施店へお問合せください。

## 1年間保証

お買い求めの販売店でご購入の年月日と販売店名を記入いただくか、販売証明書などをもちってください。

お客様

ご住所

お名前

電話番号 ( )

販売店

住所

お買い上げ年月日 年 月 日

店名

電話番号 ( )

印

機種名

SL-TR1

販売証明書貼り付け欄



コロナ電業株式会社 <http://www.corona-dengyo.co.jp>